

令和7年 蒜山自然再生協議会
事務局だより

11月 風の便り 第3号

発行日：2025.10.25

発行元：蒜山自然再生協議会事務局
岡山県真庭市蒜山上福田1205-780
シェアオフィスひととき内

こんにちは。順調に3号目の「風の便り」です。
こつこつと続けて参りますので、あたたかく見守っていただけたら嬉しいです。蒜山自然再生協議会や委員が携わっている活動は広範囲にわたります。今号は、11月に開催予定のイベントと日頃わたしたちが活動している場所の一部を地図におとしてみました。いつか年間スケジュールが一目瞭然となる地図が出来ればいいな、、、と考えております。



10月の事務局の活動(概略)

- ★ 1日 事務局員の高橋が真庭市地域おこし協力隊に着任
- 4日 戦争遺跡「トーチカ」の草木刈取り、伐採
- 7~11日 シェアオフィス蒜山ひとときにて
「蒜山ネイチャーウィーク」が開催。以下を事務局で担当。
・7日：サイクリングツアーにて土地の成り立ち・伝統工芸等を解説
・8・10日：鳩ヶ原にて伝統的な草原利用や近年の保全活動を紹介
・9日：講演会に登壇し、茅の活用や企業との連携事業等を紹介
- 10日 小内海谷湿原植生調査
- 14日 草原の里100選交流フォーラムにて事例発表
- 15日 小内海谷 鳥類ラインセンサス調査
- 16日 協議会会長と事務局で会議
- 19日 登山道整備 穴ヶ屹
- 21日 小内海谷湿原植生調査
- 22日 登山道整備 穴が屹 (Forestrail協賛)岡山トヨタ様ご参加
- 24日 蒜山中学校にて茅の箒づくりの指導
- 25日 登山道整備 下蒜山 財務省岡山財務事務所様ご参加

★コラム

蒜山の山焼き草原は「草原の里100選」に選定されています

2021年度から始まった「未来に残したい草原の里100選」事業では、全国に残る草原とその里に光を当て、人と自然の関わりの中「草原の里」で培われてきた知識や技術、人びとの想いを共有し、次世代に引き継ぐことを目的に2022年度から里の選定が始まりました。

蒜山で現在も山焼きが行われている草原については、真庭市から申請し、初年度認定の里34のうちの1つとして認定されました。GRRENable HIRUZENのサイクリングセンターに茅が使われるなど、新たな茅の利活用等が評価されました。これを契機に、他の里との交流も進んでいます。里の認定および交流フォーラムが毎年実施されており、選定委員会からのご依頼により、今年10月14日の4年目の交流フォーラムにて「環境省自然共生サイトへの登録」や企業との連携など、主に認定後に取り組んできた内容を発表いたしました。



★10月4日

蒜山原の戦争遺跡「トーチカ」の草木刈取り、伐採

(主催:蒜山郷土博物館、共催:八束コミュニティ・センター、
協力:蒜山ガイドクラブ、蒜山観光協会、真庭観光局、
真庭市蒜山振興局、真庭市教育委員会、地元有志)

旧陸軍の蒜山原演習場に作られた戦争遺跡「トーチカ」に生い茂る草木の刈取り・伐採に事務局も参加しました。前回は三年ほど前に実施しており、すっかり草木が茂っていて、何があるのかわからない状態でしたが、今回の作業で姿形がはっきりしたので、今後の戦争遺跡巡りなどに活用しやすくなりました。



「風の便り」や蒜山自然再生協議会に
対するご意見・ご感想など
お気軽にご連絡ください！

例えば

- ・協議会に相談できることはどんなんこと？
- ・蒜山の自然にはどんな特徴があるの？
- ・全体的に字を大きくして！などなど

蒜山自然再生協議会事務局
hiruzen.nature.restoration.mit22@gmail.com

